

第 26 回放送番組審議機関 議事概要

■開催年月日：平成 30 年 7 月 20 日（金）

■開催場所：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社 会議室

■Dlife 放送番組審議機関審議委員（平成 30 年 7 月 20 日現在）

北村みどり（三宅デザイン事務所 代表取締役社長 21_21DESIGN SIGHT 代表取締役社長）

齊藤裕人（日本大学芸術学部映画学科教授） * 審議委員長

中村伊知哉（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授）

早見優（歌手）

ピーター・バラカン（ブロードキャスター）

湯川れい子（作詞家・音楽評論家、エッセイスト）

吉田知子（オリコン株式会社経営企画本部 広報部長）

四方田浩一（映像メディア総合研究所 代表） * 副審議委員長

* あいうえお順、敬称略

■出席した委員（敬称略）：

北村みどり（三宅デザイン事務所 代表取締役社長 21_21DESIGN SIGHT 代表取締役社長）

齊藤裕人（日本大学芸術学部映画学科教授） * 審議委員長

中村伊知哉（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授）

ピーター・バラカン（ブロードキャスター）

湯川れい子（作詞家・音楽評論家、エッセイスト）

吉田知子（オリコン株式会社経営企画本部 広報部長）

四方田浩一（映像メディア総合研究所 代表）

* あいうえお順、敬称略

■議題：

- ・開会の辞 審議委員長より
- ・番組審議会副審議委員長の選出について
- ・視聴者からの問い合わせ状況報告（平成 30 年 4 月～6 月分）
- ・6～7 月の編成プランについて
- ・番組審議（作品紹介とディスカッション、プロモーションの紹介）

< 審査番組 >

① 「シカゴ・ファイア」 日本語吹替版（第 1 話）

② 「ナイト・マネジャー」 日本語吹替版（第 1 話）

・閉会の辞 審議委員長より

■議事概要

齋藤審議委員長による開会の辞に続き、以下の議題が進行された。

○番組審議会副審議委員長の選出

齋藤審議員により、副審議委員長の選出を審議員の互選により選出することが説明され、審議委員長の進行の下、選出を執り行った。

立候補者の呼びかけを行ったところ、四方田氏から立候補があり、審議委員による採択を行った結果、出席者全員の賛成により、四方田浩一氏が副審議委員長として承認された。

○平成30年4月～6月までに、カスタマーサービスに寄せられた問い合わせ状況について、視聴者からの問い合わせや要望、また再放送の要望が高かった番組を報告し、確認された。審議委員からは、クローズドキャプション機能についての質問があり、説明され理解された。

○6月、7月の編成について、以下のポイントについて、番組宣伝映像を交えながら説明を行い、確認された。

1. 6月から、「クリミナル・マインド／FBI vs. 異常犯罪」「Major Crimes ～重大犯罪課」「私はラブ・リーガル」「ER 緊急救命室」の新シーズンを続々放送したことが紹介された。また、新シーズンの放送開始の前に、“新シーズン直前！おさらい特別編成”として、「Major Crimes ～重大犯罪課」と「ブラックリスト」の前シーズンの一挙放送を行ったことも紹介され、理解された。

スター・ウォーズ最新作劇場映画「ハン・ソロ／スター・ウォーズ・ストーリー」の6月29日の公開を記念し、アニメーション番組「スター・ウォーズ／フォース・オブ・デスティニー コンプリート」「LEGO スター・ウォーズ／フリーメーカーの冒険: カイバー・セーバー・クリスタル争奪戦」を放送する特別編成を行ったことが紹介され、理解された。

2. 7月は、吉田羊主演の新ドラマシリーズ「コールドケース ～真実の扉～」の日本版と人気ドラマシリーズ「ブラックリスト」「Hawaii Five-0」「CSI: 科学捜査班」それぞれの新シーズンの放送が開始になることが説明された。

また、好評の料理バラエティ番組「ブリティッシュ ベイクオフ」と「ジェイミー・オリヴァーの簡単レシピ！食材5つでおいしい料理」、それぞれの新シリーズの放送が開始になることも説明され、理解された。

○委員からは、事前視聴、及び当日上映された番組に対し、それぞれ以下のような意見や感想が寄せられた。

ー 「シカゴ・ファイア」第 1 話について、火災現場の描写のスケールの大きさに圧倒され、人命救助という仕事がリアルに描かれ、チームワークの重要性にもフォーカスされ、脚本が良く、見ごたえのあるドラマである。また登場人物のルックスが良いのも魅力であり、今後の展開が楽しみである、という感想が寄せられた一方で、多くの要素が盛り込まれており、テンポが速く感じられる、また冒頭の消火活動のミス描写が気になり、その後の鑑賞中も終始気になってしまった、という所感も寄せられた。

ー 「ナイト・マネジャー」について、映画のようなクオリティの映像美で原作を忠実にドラマ化し、あたかも上質なミステリー小説を読むようにどんどん引き込まれてしまった、他の人にも勧めたい、という賛辞が多くの審議員から寄せられた。また、そもそも映画化が計画されていた原作を、8 話完結でドラマとして映像化し、最後までテレビでしっかり観たいタイプの作品である、という感想も寄せられた。

一方で、唐突と感じる恋愛描写があり、違和感を覚えたという一部の所感も寄せられた。

○最後に齋藤審議委員長による閉会の辞が述べられ、閉会となった。

以上